



# 動物レスキュー通信

2016年10月 第41号 (平成28年10月1日発行)

発行元  
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## 普段からできる大切なこと

### 災害への備え



イラスト ASH

わたくし事ではございますが、先日あるライセノスを取得しました。それは一般社団法人全日本動物専門教育協会が発行している「ペット災害危機管理士」の級及び級です。こちらの協会は当財団と同じく犬猫の殺処分を減らすために活動されており、その中でも飼い主である人間の教育に力を入れている協会です。そこで様々なライセノスを発行されている中で、日本人にとつてはいつ自分の身に起こるかも知れない災害危機に関する事を学んでみようと、このライセノス取得を決めました。2013年には環境省により「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」が作られ、ペットとは同行避難が原則となつたと理解されている方もたくさんいらっしゃると思います。そこで今回、災害の事やワンちゃん、ネコちゃんとの同行避難について勉強して改めて感じた事は、ワンちゃん、ネコちゃん、飼い主である人間が自分の身を守れること、動物たちの身も守れるという事です。そこで今回は、地震列島の日本において災害の被害を少なくするために普段からどんな事に気をつければいいのか書いていきたいと思います。

### 災害対策と備え

まず、災害対策として、①家具やテレビ、パソコンなどを固定するなどして転落や落下の予防をする。②重ねてある家具類は

上下を連結した上で固定する。③つり戸棚などの開き戸は内容物が飛び出ないように工夫する。④重いものの収納は下段にする。⑤ガラスのある家具にはガラス飛散防止フィルムを貼る。⑥ケージを固定したり、滑り止めを敷く。⑦万が一倒れてしまっても怪我や避難の妨げにならないように家具の位置を工夫する。これらを踏まえた上で自宅の中をもう一度見直してみてください。そして備えとしては①食料を備蓄する。災害が起きた際に避難まではしなくて良くても、電気、ガス、水道などのライフラインが停止し、復旧までに時間がかかる場合があるため、その際に自宅で生活できるように、普段使っているものを一定量用意しておく。②「流通備蓄」という考えがあり、お米やレトルト食品、トイレトペーパーなどを常に一定の量を余分に飼つておくことです。③非常用持ち出し袋を用意する。自宅が被災したり、自宅周辺が危険だと判断された場合には安全な場所に避難しなくてはなりません。慌てて自宅を出なければならぬ時もありますので、非常持ち出し袋には前もって備蓄品をつめ玄関などの持ち出しやすい場所においておきましょう。もちろんワンちゃん、ネコちゃん用の普段食、慣れているペットフードやおもちゃ、毛布などワンちゃん、ネコちゃん用の避難用品も一緒に置いておいてください。またワンちゃん、ネコちゃんとの同行避難の際には必ずキャリーバッグやケージが必要になりますので、普段からすぐに取り出せ

るところに置いておきましょう。④ワンちゃん、ネコちゃんのしつけと健康管理。ワンちゃんの場合、誰にでも吠えてしまったり、飼い主さんの言う事を全く聞いちゃいけないようでは同行避難の際に飼い主さんがとても苦労する事になってしまう、飼い主さんにとつてもワンちゃんにとつても不幸が訪れてしまつて可能性があります。又、平常時の排便や排尿、体温、脈拍、呼吸数、食事量、飲水量など体に関する事を知つておくこと非常時のワンちゃん、ネコちゃんの変化にいち早く気付いてあげられるはずです。④同行避難できるかどうかを事前に確認しておく。環境省のガイドラインでは基本的には同行避難となっていますが、自治体によってはその対応は様々ですので、「自分の住む地域の自治体に事前に確認する事はとても大切な事です。又、以前トラブルが起きた事例としては「同行避難」と「同伴避難」を混同してしまつている可能性があります」という事です。ペット同伴可の避難所以外では人間と動物が同じ居住スペースに入る事は出来ない事となっています。それは屋外であったり、別のスペースであったり、避難所に寄つて様々です。災害が起きてしまつてからではただでさえ混乱していますので、大切な事は平常時にきちんと確認しておくことが大切です。又、ワンちゃんの場合は飼い主さんと一緒に避難訓練をする事も可能です。避難所までの道のりを一緒に歩いてみたり、時には野外にテントを張り宿泊してみましよう。野外が難しい場合は室内でもかまいません。実際に寝袋で寝てみるのもよいでしょう。

このように、被害を最小にとどめるために普段からできる事はたくさんあります。災害時でもできるだけ飼い主さん、そしてワンちゃん、ネコちゃんが幸せでいられるようにしてそれは不幸な子を増やさないために必ず役立つと信じております。(詩月)